

注3

大学番号：私029

[平成29年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

認可

流通経済大学 スポーツ健康科学部  
スポーツコミュニケーション学科

注2

## 【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人日通学園  
平成29年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名	総務部
職名・氏名	部長代理・篠 <sup>シノ</sup> 敬一郎 <sup>ケイイチロウ</sup>
電話番号	0297-64-0001
（夜間）	0297-60-1151
F A X	0297-64-0011
e-mail	soumu@rku.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に  
( )書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

スポーツ健康科学部

＜スポーツコミュニケーション学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	15
6. 留意事項等に対する履行状況等	23
7. その他全般的事項	25

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人日通学園

## (2) 大学名

流通経済大学

## (3) 大学の位置

〒301-8555

茨城県龍ケ崎市字平畑120番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ノジリ トシアキ) 野尻俊明 (平成28年6月)		
学長	(ノジリ トシアキ) 野尻俊明 (平成27年4月)		
学部長	(クロイワ ジュン) 黒岩純 (平成28年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。  
(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)  
平成29年度に報告する内容 → (29)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
  - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
  - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。  
 ・ 様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
スポーツ健康科学部 スポーツコミュニケーション 学科 学士(スポーツ健康科学)	体育関係	4年	100人	— 年次人	400人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平均入学定員 超過率	備考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A	入学定員	100 ( ) [ ]	—	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	1.01 倍	
	志願者数	220 ( ) [ 3 ]	— ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
	受験者数	184 ( ) [ 3 ]	— ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
	合格者数	163 ( ) [ 3 ]	— ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
	B 入学者数	101 ( ) [ 3 ]	— ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
	入学定員超過率 B/A	1.01									

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	101 [ 3 ] ( - )	[ - ] ( - )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
3年次			/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )
4年次	/				[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )
計			101 [ 3 ] ( - )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成29年度 入学者	101 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
			平成32年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	人	平成30年度	人	人		%
			平成31年度	人	人		
			平成32年度	人	人		
平成31年度 入学者	人	人	平成31年度	人	人		%
			平成32年度	人	人		
平成32年度 入学者	人	人	平成32年度	人	人		%
合 計	101 人	0 人					0.00 %

(注)・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## 2 授業科目の概要

<スポーツ健康科学部 スポーツコミュニケーション学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
学部必修科目 必修科目	1年演習	1通	4			4 3	1				3	留意事項への対応による専任教員の追加 (29) [担当 生方 謙 (教授) 平成28年11月 教員審査済 判定 可]	
	2年演習	2通	4			2	2				4	留意事項への対応による専任教員の追加 (29) [担当 生方 謙 (教授) 平成28年11月 教員審査済 判定 可]	
	3年演習	3通	4			6 5	3 2				4	留意事項への対応による専任教員の追加 (29) [担当 生方 謙 (教授) 平成28年11月 教員審査済 判定 可] [担当 藤原 庸介 (准教授) 平成28年11月 教員審査済 判定 可]	
	4年演習	4通	4			6 5	3 2				4	留意事項への対応による専任教員の追加 (29) [担当 生方 謙 (教授) 平成28年11月 教員審査済 判定 可] [担当 藤原 庸介 (准教授) 平成28年11月 教員審査済 判定 可]	
	情報基礎 I	1春・秋	2									兼3	
	スポーツ健康科学概論	1春・秋	2				2 1	1				兼10 兼11 オムニバス	専任教員の追加 (29) [担当 荒井 宏和 (教授) 平成28年11月 教員審査済 判定 可]
	海浜実習	2春	2				1					兼4	専任教員の追加 (29) [担当 荒井 宏和 (教授) 平成28年11月 教員審査済 判定 可]
学科必修科目	スポーツコミュニケーション概論	1春・秋	2			2 1	2 1					兼1 オムニバス	留意事項への対応による専任・兼任教員の追加 (29) [担当 生方 謙 (教授) 平成28年11月 教員審査済 判定 可] [担当 藤原 庸介 (准教授) 平成28年11月 教員審査済 判定 可] 担当 藤丸 真世 (兼任)
	スポーツコミュニケーション実習 (アドベンチャープログラム)	1春・秋	2							1			
	グローバルスポーツ演習 プレビジネスプログラム I	2秋 3秋	2 2					1				兼1	

必修科目	外国語	Comprehensive English初級 I	1春	1						兼4
		Comprehensive English初級 II	1秋	1						兼4
		Introduction to TOEIC I	1春	1						兼4
		Introduction to TOEIC II	1秋	1						兼4
		English Communication初級 I	2春	1						兼3
		English Communication初級 II	2秋	1						兼3
		(外) 日本語 A I	1春	1						兼1
		(外) 日本語 A II	1秋	1						兼1
		(外) 日本語 B I	1春	1						兼1
		(外) 日本語 B II	1秋	1						兼1
		(外) 日本語 C I	2春	1						兼1
		(外) 日本語 C II	2秋	1						兼1
		キャリア科目	キャリア科目	RKU入門	1	1				
RKU実践	2			1						兼1 集中
キャリアデザイン	1・2春			2						兼3
キャリアマネジメント	1・2秋			2						兼2
キャリアカウンセリング	2・3・4秋			2						兼1
海外研修	1・2・3・4			2						兼1 集中
(特) キャリア特講 (基礎)	1秋			2	1					兼5 オムニバス
(特) キャリア特講 (発展)	2春			2						兼1
(特) キャリア特講 (職業)	3春			2						兼1
(特) グローバルコミュニケーション (基礎)	1春			1						兼1
(特) グローバルコミュニケーション (発展)	2秋			1						兼1
災害ボランティア I	1・2・3・4			1						兼1 集中
災害ボランティア II	1・2・3・4			1						兼1 集中
日本通運寄付講座	2・3・4秋			2						兼1
野村証券寄付講座	2・3・4春			2						兼1
全国通運連盟寄付講座	2・3・4秋			2						兼1
ダイレクトマーケティング実践講座	2・3・4春			2						兼1
インターンシップ基礎	2・3・4春・秋			2						兼1
インターンシップ	2・3・4秋			2						兼1
インターンシップ (海外)	1・2・3・4			2						兼1 集中
キャリア基礎 (数理)	1・2春・秋			1						兼1
キャリア基礎 (言語)	1・2春・秋			1						兼1
キャリア発展 (数理)	1・2春・秋			1						兼1
キャリア発展 (言語)	1・2春・秋	1						兼1		
職業選択論	3・4春	2						兼1		
選択必修科目	教養基礎科目	哲学 I	1・2・3春	2						兼1
		哲学 II	1・2・3秋	2						兼1
		教育学 I	1・2・3春	2						兼1
		教育学 II	1・2・3秋	2						兼1
		心理学 I	1・2・3春	2						兼3
		心理学 II	1・2・3秋	2						兼3
		宗教学 I	1・2・3春	2						兼1
		宗教学 II	1・2・3秋	2						兼1
		言語論 I	1・2・3春	2						兼1
		言語論 II	1・2・3秋	2						兼1
		現代文章論 I	1・2・3春	2						兼3
		現代文章論 II	1・2・3秋	2						兼3
		イスラム学 I	1・2・3春	2						兼1
		イスラム学 II	1・2・3秋	2						兼1
		(外) 日本語表現法	1・2・3春	2						兼1
		社会学 I	1・2・3春	2						兼1
		社会学 II	1・2・3秋	2						兼1
		経済学 I	1・2・3春	2						兼1
		経済学 II	1・2・3秋	2						兼1
		法学 I	1・2・3春	2						兼1
		法学 II	1・2・3秋	2						兼1
		人文地理学 I	1・2・3春	2						兼1
		人文地理学 II	1・2・3秋	2						兼1
		日本文化論 I	1・2・3春	2						兼1
		日本文化論 II	1・2・3秋	2						兼1
		外国文化論 (アジア) I	1・2・3春	2						兼1
		外国文化論 (アジア) II	1・2・3秋	2						兼1
		外国文化論 (西欧) I	1・2・3春	2						兼1
		外国文化論 (西欧) II	1・2・3秋	2						兼1
		現代女性論 I	1・2・3春	2						兼1
		現代女性論 II	1・2・3秋	2						兼1
		社会倫理学 I	1・2・3春	2						兼1
		社会倫理学 II	1・2・3秋	2						兼1
		(外) 日本事情	1・2・3春	2						兼1
数学 I	1・2・3春	2						兼1		



教養基礎科目	数学Ⅱ	1・2・3秋	2					兼1
	地球科学Ⅰ	1・2・3春	2					兼1
	地球科学Ⅱ	1・2・3秋	2					兼1
	生態学Ⅰ	1・2・3春	2					兼1
	生態学Ⅱ	1・2・3秋	2					兼1
	生命科学Ⅰ	1・2・3春	2					兼1
	生命科学Ⅱ	1・2・3秋	2					兼1
	自然地理学Ⅰ	1・2・3春	2					兼1
	自然地理学Ⅱ	1・2・3秋	2					兼1
	文学（日本文学）Ⅰ	1・2・3春	2					兼2
	文学（日本文学）Ⅱ	1・2・3秋	2					兼2
	歴史学入門（日本史）Ⅰ	1・2・3春	2					兼1
	歴史学入門（日本史）Ⅱ	1・2・3秋	2					兼1
	歴史学入門（東洋史）Ⅰ	1・2・3春	2					兼1
	歴史学入門（東洋史）Ⅱ	1・2・3秋	2					兼1
	歴史学入門（西洋史）Ⅰ	1・2・3春	2					兼1
	歴史学入門（西洋史）Ⅱ	1・2・3秋	2					兼1
	民俗学Ⅰ	1・2・3春	2					兼1
	民俗学Ⅱ	1・2・3秋	2					兼1
	考古学Ⅰ	1・2・3春	2					兼1
考古学Ⅱ	1・2・3秋	2					兼1	
美術史Ⅰ	1・2・3春	2					兼1	
美術史Ⅱ	1・2・3秋	2					兼1	
学科基礎科目	コミュニケーション論	1春	2		1			兼1
	身体表現論	1春	2					兼1
	省察的学習論	2春	2		1			兼1
	フォロワーシップ論	2春	2					兼1
選択必修科目	実践コミュニケーション英語 (Task-Based English)	1春・秋	2		1			兼3 兼4
	スポーツ関連英語 (English in Action)	2春・秋	2		1			兼1
	英語資格支援講座 (Lifelong English)	3春	2					兼1
学部基礎科目	スポーツ心理学	1秋	2		1			兼1
	スポーツ社会学	1秋	2		1			兼1
	スポーツ政策論	1春	2					兼1
	スポーツ教育学	1秋	2		1			兼1
	スポーツ救急理論・実習Ⅰ	2・3春・秋	2		1			兼1 兼2
	スポーツ史	2・3秋	2					兼1
	スポーツ哲学	2・3春	2					兼1
	スポーツ人類学	2・3春	2					兼1
	安全教育(学校安全を含む)	2・3春	2					兼1
	スポーツ医学	2・3春	2					兼1
	スポーツバイオメカニクス	2・3春	2					兼1
	精神保健学	2・3春	2					兼2
	衛生・公衆衛生学(運動衛生学を含む)	2・3春	2					兼1
	学校保健学	2・3春	2					兼1
	機能解剖学Ⅰ	2・3春	2					兼1
	健康教育学	2・3春	2					兼2
	スポーツ栄養学Ⅰ	2・3春	2					兼1
	スポーツ生理学	2・3春	2					兼1
	スポーツ運動学	1春	2					兼1
	スポーツ技術・戦術論	1春	2					兼1
	体カトレーニング論	2・3春	2					兼1
	発育発達老化の理論・実習	2・3春	2					兼1
	メンタルトレーニング論	2・3秋	2		1			兼1
アダプテッド・スポーツ論	2・3秋	2					兼1	

選択必修科目	スポーツ実技科目	体づくり運動	1・2・3春・秋	1					兼1	専任教員（宗宮）の就任延期に伴う教員追加（29） 担当 朴京真（兼任）
	器械運動	1・2・3春・秋	1		1			兼1		
	陸上競技	1・2・3春・秋	1					兼1		
	水泳・水中運動	1・2・3春・秋	1					兼1		
	バスケットボール	1・2・3春・秋	1					兼1		
	サッカー	1・2・3春・秋	1				1			
	ラグビー	1・2・3春・秋	1					兼1		
	アメリカンフットボール	1・2・3春	1					兼1		
	野球・ソフトボール	1・2・3春・秋	1					兼1		
	バレーボール	1・2・3春・秋	1					兼2		
	テニス	1・2・3春・秋	1					兼1		
	バドミントン	1・2・3春・秋	1					兼1		
柔道	1・2・3春・秋	1					兼1			
剣道	1・2・3春・秋	1		1			兼1			
ダンス	1・2・3春・秋	1					1	兼1		
新体操	1・2・3春・秋	1						兼1		
選択科目	専門発展科目	社会調査法	1春	2					兼1	留意事項への対応による専任・兼任教員の追加（29） 担当 荒井 宏和（教授） 平成28年11月 教員審査済 判定 可 担当 落合 博（兼任）  留意事項への対応による専任教員の追加（29） 担当 藤原 庸介（准教授） 平成28年11月 教員審査済 判定 可
		社会心理学	2・3秋	2					兼1	
		グローバル化と文化	2・3秋	2					兼1	
		障害者福祉論	2・3秋	2					兼1	
		対人関係論	2・3春	2					兼1	
		国際社会学	2・3秋	2					兼1	
		地域社会学	2・3春	2					兼1	
		開発社会学	2・3秋	2					兼1	
		経営学総論Ⅰ	1春	2					兼1	
		経営学総論Ⅱ	1秋	2					兼1	
		事業創造論Ⅰ	2・3春	2					兼1	
		事業創造論Ⅱ	2・3秋	2					兼1	
		マーケティング論Ⅰ	2・3春	2					兼1	
		マーケティング論Ⅱ	2・3秋	2					兼1	
		人的資源管理論Ⅰ	2・3春	2					兼1	
		人的資源管理論Ⅱ	2・3秋	2					兼1	
		起業家育成講座Ⅰ	2・3春	2					兼1	
		起業家育成講座Ⅱ	2・3秋	2					兼1	
		情報学概論Ⅰ	1春	2					兼1	
		情報学概論Ⅱ	1秋	2					兼1	
		通信・ネットワーク概論	2・3春	2					兼1	
		情報応用システム論	2・3秋	2					兼1	
		憲法Ⅰ	2・3春	2					兼1	
		憲法Ⅱ	2・3秋	2					兼1	
		スポーツマネジメント概論	1秋	2			1			
		スポーツマネジメント演習	2春	2			1			
		スポーツと地域開発	2春	2			1			
		スポーツと国際協力	2秋	2			1			
		スポーツマネジメント実習	3春・秋	2			2			
		スポーツ情報・メディア概論	1秋	2		1				
		ジャーナリズム論・演習	2秋	2		1				
		スポーツ情報戦略・分析論	2春	2						
スポーツ・ジャーナリズム実習	3秋	2		1						
スポーツ・インテリジェンス実習	3秋	2			1					
コーチング概論	1秋	2				1				
コーチング演習	2春	2				1				
専門コーチング演習Ⅰ （子どもスポーツ）	2秋	2		1						
専門コーチング演習Ⅱ （ボールゲーム）	2秋	2				1				
専門コーチング演習Ⅲ （武道）	2秋	2		1						
専門コーチング演習Ⅳ （表現系スポーツ）	2秋	2				1				
コーチング実習	3春・秋	2				1				
プレビジネスプログラムⅡ	4春	2					兼1			

資格基礎科目	教育社会学概論	1春		2		1							
	保健体育科教育法Ⅰ	2春		2		1							
	保健体育科教育法Ⅱ	3春		2		1							
	教育原理	1春		2							兼1		
	エアロビック運動の理論	1秋		2							兼1		
	教師論	1秋		2							兼1		
	教育心理学	1春		2							兼1		
	教育相談	2春		2							兼1		
	生徒指導論	2春		2							兼1		
	教育課程論	2秋		2							兼1		
	特別活動論	2秋		2							兼1		
	健康管理学	2秋		2							兼1		
	健康づくりと運動プログラム	2春		2							兼1		
	教育方法学	3春		2							兼2		
選科科目	初級ドイツ語Ⅰ	1・2・3・4春		1								兼1	
	初級ドイツ語Ⅱ	1・2・3・4秋		1								兼1	
	初級フランス語Ⅰ	1・2・3・4春		1								兼1	
	初級フランス語Ⅱ	1・2・3・4秋		1								兼1	
	初級中国語Ⅰ	1・2・3・4春		1								兼1	
	初級中国語Ⅱ	1・2・3・4秋		1								兼1	
	初級スペイン語Ⅰ	1・2・3・4春		1								兼1	
	初級スペイン語Ⅱ	1・2・3・4秋		1								兼1	
	初級朝鮮・韓国語Ⅰ	1・2・3・4春		1								兼1	
	初級朝鮮・韓国語Ⅱ	1・2・3・4秋		1								兼1	
	初級ポルトガル語Ⅰ	1・2・3・4春		1								兼1	
	初級ポルトガル語Ⅱ	1・2・3・4秋		1								兼1	
	Comprehensive English 中級Ⅰ	2・3・4春		1								兼1	
	Comprehensive English 中級Ⅱ	2・3・4秋		1								兼1	
	English Writing Ⅰ	2・3・4春		1								兼1	
	English Writing Ⅱ	2・3・4秋		1								兼1	
	メディア英語Ⅰ	2・3・4春		1								兼1	
	メディア英語Ⅱ	2・3・4秋		1								兼1	
	資格英語Ⅰ	2・3・4春		1								兼1	
	資格英語Ⅱ	2・3・4秋		1								兼1	
	English Reading Ⅰ	2・3・4春		1								兼1	
	English Reading Ⅱ	2・3・4秋		1								兼1	
	(外) ビジネス日本語Ⅰ	2・3・4春		1								兼1	
	(外) ビジネス日本語Ⅱ	2・3・4秋		1								兼1	
	English Communication 中級Ⅰ	3・4春		1								兼1	
	English Communication 中級Ⅱ	3・4秋		1								兼1	
	自由科目	資格発展科目											
		体育授業理論実習Ⅰ	2春			2	1						
		体育授業理論実習Ⅱ	3秋			2							兼1
体育授業理論実習Ⅲ		3秋			2	1							
教職実践演習		4秋			2	1						兼3	
教育実習（事前指導）		3秋			1	1						兼2	
教育実習（中学校）		4通			3	1						兼2	
教育実習（高等学校）		4通			1	1						兼2	
教育史		1秋			2							兼1	
道徳教育論		2春			2							兼1	
学校教育現場実習		2春			1	1							
介護入門		3春			2							兼1	
測定評価理論・実習		1秋			2							兼1	
トレーニング実習		1春・秋			1							兼2	
コンディショニング理論・実習Ⅰ（基礎）		1春			2							兼1	
エアロビックダンス		1春			1	1							
スポーツ外傷・障害と予防		2秋			2							兼1	
ジョギング・ウォーキング		2春			2							兼1	
スポーツ救急理論・実習Ⅱ		3秋			2							兼1	
健康産業施設等現場実習		3通			1							兼1	

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成28年度に認可（届出）された大学等は設置認可（届出）時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合は、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）
- ・ 「配当年度」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度認可以前）についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目 23	科目 212	科目 19	科目 254	科目 23 [ 0 ]	科目 212 [ 0 ]	科目 19 [ 0 ]	科目 254 [ 0 ]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし	—	—	—	—	—

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし	—	—	—	—	—

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{254} = \boxed{0.00} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	運動場借用地 45,286㎡ 期間2016年4月～ 2037年3月			
	校舎敷地	103,689.58 ㎡	— ㎡	— ㎡	103,689.58 ㎡				
	運動場用地	80,308.66 ㎡	— ㎡	— ㎡	80,308.66 ㎡				
	小 計	183,998.24 ㎡	— ㎡	— ㎡	183,998.24 ㎡				
	そ の 他	8,230.00 ㎡	— ㎡	— ㎡	8,230.00 ㎡				
	合 計	192,228.24 ㎡	— ㎡	— ㎡	192,228.24 ㎡				
(2) 校舎	専 用	86,074.72 ㎡ <del>85,962.38 ㎡</del> (86,074.72 ㎡) <del>(85,962.38 ㎡)</del>	— ㎡ ( — ㎡)	— ㎡ ( — ㎡)	86,074.72 ㎡ <del>85,962.38 ㎡</del> (86,074.72 ㎡) <del>(85,962.38 ㎡)</del>	建物増築のため。 (29)			
	共 用								
(3) 教室等	講義室	45 34 室	演習室 46 室	実験実習室 13 室	情報処理学習施設 14 室 (補助職員 5人)	語学学習施設 31 23 室 (補助職員 3人) <del>(補助職員 0人)</del>	大学全体 講義室及び語学学習施設の増加は建物増築による施設拡充のため。語学学習施設の補助職員増加は支援体制強化のため。 (29)		
	新設学部等の名称	室 数							
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数				室数増加は教員数増加のため。(29)		
	スポーツコミュニケーション学科		13 12 室						
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位での特定不能なため大学全体の数 図書の増加は新規購入のため。うち外国書の減少は除籍のため。学術雑誌(電子ジャーナル含む)の減少は契約タイトル数の変更のため。視聴覚資料の増加は契約タイトル数の変更のため。(29)	
	スポーツコミュニケーション学科	323,117 [76,582] <del>321,658 [76,817]</del> (323,117 [76,582]) <del>(321,658 [76,817])</del>	980 [241] <del>993 [280]</del> (980 [241]) <del>(993 [280])</del>	217 [217] <del>270 [270]</del> (217 [217]) <del>(270 [270])</del>	260 <del>259</del> (260) <del>(259)</del>	2,777 (2,709)	0 (0)		
	計	323,117 [76,582] <del>321,658 [76,817]</del> (323,117 [76,582]) <del>(321,658 [76,817])</del>	980 [241] <del>993 [280]</del> (980 [241]) <del>(993 [280])</del>	217 [217] <del>270 [270]</del> (217 [217]) <del>(270 [270])</del>	260 <del>259</del> (260) <del>(259)</del>	2777 (2,709)	0 (0)		
(6) 図書館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		建物増築のため。 (29)			
	5,301.44 ㎡ <del>5,275.88 ㎡</del>	893		447,756					
(7) 体育館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体			
	4,861.84 ㎡	スポーツ健康センター(プール、トレーニングルーム、エアロビクススタジオ)4,982.44㎡, 柔剣道場871.55㎡,多目的室内練習場1,701.01㎡,トレーニングセンター278.37							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	設備購入費の開設前年度の増加は設備拡充のため。(29)
		教員1人当たり研究費等	670千円	670千円	図書購入費	2,999千円	2,000千円	2,000千円	
	共同研究費等	3,000千円	3,000千円	設備購入費	1,700千円 <del>1,571千円</del>	3,000千円	3,000千円		
	学生1人当たり納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,426千円	1,123千円	1,123千円	1,123千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		学校法人の資産運用等をもって充当する。							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	流通経済大学							備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入 学定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地
	年	人	年次 人	人		倍		
経済学部						1.14		
経済学科	4	220		880	学士 (経済学)	1.08	昭和 40年度	茨城県龍ヶ崎 字平畑120番地
経営学科	4	150		600	学士 (経営学)	1.23	昭和 45年度	
社会学部						1.04		
社会学科	4	130		520	学士 (社会学)	0.95	昭和 63年度	千葉県松戸市 新松戸3-2-1
国際観光学科	4	120	3年次 20	520	学士 (社会学)	1.15	平成 5年度	
流通情報学部						0.96		
流通情報学科	4	130		520	学士 (流通情報学)	0.96	平成 8年度	
法学部						1.15		
ビジネス法学科	4	100	3年次 10	420	学士 (法学)	1.10	平成 13年度	
自治行政学科	4	100	3年次 10	420	学士 (法学)	1.20	平成 13年度	
スポーツ健康科学部						1.15		
スポーツ健康科学科	4	200		800	学士 (スポーツ健康科学)	1.15	平成 18年度	茨城県龍ヶ崎 字平畑120番地
スポーツ コミュニケーション学科	4	100		400	学士 (スポーツ健康科学)	1.01	平成 29年度	
経済学研究科								
経済学専攻	2	10		20	修士 (経済学)	0.20	平成 元年度	
	3	5		15	博士 (経済学)	0.00	平成 3年度	
社会学研究科								
社会学専攻	2	10		20	修士 (社会学)	0.05	平成 4年度	
	3	5		15	博士 (社会学)	0.00	平成 6年度	

物流情報学研究科								
物流情報学専攻	2	20	40	修士 (物流情報学)	0.17	平成 12年度	茨城県龍ヶ崎 字平畑120番地	
	3	5	15	博士 (物流情報学)	0.06	平成 14年度		
法学研究科								
リーガルビジネス専攻	2	10	20	修士 (法学)	0.10	平成 17年度		
スポーツ健康科学研究科								
スポーツ科学専攻	2	10	20	修士 (スポーツ科学)	0.65	平成 22年度		

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。



5 教員組織の状況

<スポーツ健康科学部 スポーツコミュニケーション学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
					専任	教授	荒井 宏和 (48)	平成29年4月	スポーツ健康科学概論※ 海浜実習 スポーツ救急理論・実習 スポーツ情報・メディア概論※	平成28年11月 AC教員審査済 【留意事項への対応】 (29)
					専任	教授	生方 謙 (47)	平成29年4月	1年演習 3年演習 4年演習 スポーツコミュニケーション概論※ スポーツ心理学 メンタルトレーニング論	平成28年11月 AC教員審査済 【留意事項への対応】 (29)
専任	教授	柴田 一浩 (55)	平成29年4月	2年演習 3年演習 4年演習 スポーツ健康科学概論※ 専門コーチング演習Ⅲ(武道) 保健体育科教育法Ⅰ 体育授業理論実習Ⅲ 学校教育現場実習 スポーツコミュニケーション概論※ スポーツ教育学 剣道						
専任	教授	田中 光 (44)	平成29年4月	2年演習 3年演習 4年演習 器械運動 専門コーチング演習Ⅰ(子どもスポーツ) エアロビックダンス						
専任	教授	松田 哲 (53)	平成29年4月	1年演習 3年演習 4年演習 (特)キャリア特講(基礎)※ コミュニケーション論 スポーツ社会学 教育社会学概論 教育実習(中学校) 教育実習(高等学校) 教育実習(事前指導) 教職実践演習						
専任	教授	三木 ひろみ (58)	平成29年4月	1年演習 3年演習 4年演習 実践コミュニケーション英語(Task-Based English) スポーツ関連英語(English in Action) 保健体育科教育法Ⅱ 体育授業理論実習Ⅰ 省察的学習論						
専任	教授	龍崎 孝 (56)	平成29年4月	1年演習 3年演習 4年演習 ジャーナリズム論・演習 スポーツ・ジャーナリズム実習						
専任	准教授	西機 真 (43)	平成29年4月	2年演習 3年演習 4年演習 スポーツ健康科学概論※ グローバルスポーツ演習 スポーツマネジメント演習 スポーツマネジメント実習 スポーツコミュニケーション概論※ スポーツマネジメント概論						
					専任	准教授	藤原 庸介 (63)	平成29年4月	3年演習 4年演習 スポーツコミュニケーション概論※ スポーツ・インテリジェンス実習	平成28年11月 AC教員審査済 【留意事項への対応】 (29)
専任	准教授	向山 昌利 (41)	平成29年4月	1年演習 2年演習 3年演習 4年演習 スポーツと地域開発 スポーツと国際協力 スポーツマネジメント実習						
専任	助教	小谷 究 (36)	平成29年4月	1年演習 2年演習 3年演習 4年演習 コーチング概論 コーチング演習						

専任	助教	大平 正軌 (46)	平成29年4月	1年演習 2年演習 3年演習 4年演習 サッカー 専門コーチング演習Ⅱ(ボールゲーム) コーチング実習						
専任	助教	宗宮 悠子 (30)	平成29年4月	1年演習 2年演習 3年演習 4年演習 ダンス 専門コーチング演習Ⅳ(表現系スポーツ)			平成30年4月			本人都合(出産・育児)により、就任延期(29)
専任	助教	寺中 祥吾 (32)	平成29年4月	2年演習 3年演習 4年演習 スポーツコミュニケーション実習(アドベンチャープログラム)						
兼任	教授	東 美晴 (55)	平成29年4月	グローバル化と文化						
兼任	教授	井川 信子 (60)	平成29年4月	数学Ⅰ 数学Ⅱ						
兼任	教授	市川 新 (69)	平成29年4月	教育方法学						
兼任	教授	上野 裕一 (55)	平成29年4月	スポーツ健康科学概論※						
兼任	教授	梅木 眞 (49)	平成29年4月	野村証券寄付講座 経営学総論Ⅰ 経営学総論Ⅱ						
兼任	教授	大槻 毅 (41)	平成29年4月	スポーツ健康科学概論※ スポーツ生理学 発育発達老化の理論・実習 エアロビック運動の理論						
兼任	教授	恩田 守雄 (62)	平成29年4月	開発社会学						
兼任	教授	片山 直登 (57)	平成29年4月	RKU入門 RKU実践 海外研修 災害ボランティアⅠ 災害ボランティアⅡ インターンシップ(海外)	兼任	教授	都築 一浩 (60)	平成29年4月	RKU入門 RKU実践 海外研修 災害ボランティアⅠ 災害ボランティアⅡ インターンシップ(海外)	本人都合により、担当者変更(29)
兼任	教授	茅原 道昭 (61)	平成29年4月	Comprehensive English 初級Ⅰ Comprehensive English 初級Ⅱ						
兼任	教授 (学部長)	黒岩 純 (53)	平成29年4月	プレビジネスプログラムⅠ プレビジネスプログラムⅡ						
兼任	教授	小松 郁夫 (69)	平成29年4月	教育史 道徳教育論 生徒指導論 教育課程論 特別活動論	兼任	講師	貝塚 茂樹 (53)	平成29年4月	教育史 道徳教育論	所属学部の都合により、担当者変更(29)
兼任	教授	坂本 充 (60)	平成29年4月	スポーツ健康科学概論※ ジョギング・ウォーキング 健康産業施設等現場実習						
兼任	教授	佐藤 尚人 (59)	平成29年4月	教育相談						
兼任	教授	佐野 栄一 (65)	平成29年4月	初級フランス語Ⅰ 初級フランス語Ⅱ						
兼任	教授	関 哲行 (67)	平成29年4月	初級スペイン語Ⅰ 初級スペイン語Ⅱ						
兼任	教授	関 宏幸 (52)	平成29年4月	情報基礎Ⅰ						
兼任	教授	関根 秀一 (69)	平成29年4月	(外)日本事情 美術史Ⅰ 美術史Ⅱ						
兼任	教授	高田 富夫 (68)	平成29年4月	(特)キャリア特講(基礎)※						
兼任	教授	高松 潤二 (47)	平成29年4月	スポーツ健康科学概論※ スポーツバイオメカニクス スポーツ技術・戦術論						
兼任	教授	立川 和美 (50)	平成29年4月	(外)日本語AⅠ (外)日本語AⅡ (外)日本語BⅠ (外)日本語BⅡ (外)日本語CⅠ (外)日本語CⅡ (外)日本語表現法						
兼任	教授	田養 健太郎 (44)	平成29年4月	スポーツ健康科学概論※ スポーツ人類学						
兼任	教授	崔 光 (52)	平成29年4月	事業創造論Ⅰ 事業創造論Ⅱ						
兼任	教授	知念 民雄 (61)	平成29年4月	自然地理学Ⅰ 自然地理学Ⅱ						
兼任	教授	津村 修 (63)	平成29年4月	社会学Ⅰ 社会学Ⅱ						
兼任	教授	根橋 正一 (66)	平成29年4月	地域社会学 国際社会学						
兼任	教授	八田 正信 (68)	平成29年4月	社会調査法						
兼任	教授	馬場 啓一 (68)	平成29年4月	現代文章論Ⅰ 現代文章論Ⅱ 日本文化論Ⅰ 日本文化論Ⅱ						
兼任	教授	林 克彦 (58)	平成29年4月	全国通運連盟寄付講座						
兼任	教授	原 宗子 (68)	平成29年4月	歴史学入門(東洋史)Ⅰ 歴史学入門(東洋史)Ⅱ						
兼任	教授	日笠 博司 (61)	平成29年4月	初級ポルトガル語Ⅰ 初級ポルトガル語Ⅱ						
兼任	教授	増田 悦夫 (65)	平成29年4月	通信・ネットワーク概論 情報応用システム論						

兼任	教授	宮平 真弥 (49)	平成29年4月	(特)キャリア特講(基礎)※						
兼任	教授	村上 之伸 (50)	平成29年4月	初級中国語 I 初級中国語 II						
兼任	教授	村田 彰 (63)	平成29年4月	法学 I 法学 II	兼任	講師	花立 文子 (67)	平成29年4月	法学 I 法学 II	所属学部の都合により、 担当者変更 (29)
兼任	教授	村田 典子 (52)	平成29年4月	介護入門						
兼任	教授	安田 淳 (63)	平成29年4月	Comprehensive English 初級 I Comprehensive English 初級 II 言語論 I 言語論 II Comprehensive English 中級 I Comprehensive English 中級 II						
兼任	教授	矢野 裕児 (60)	平成29年4月	日本通運寄付講座 ダイレクトマーケティング 実践講座						
兼任	教授	山田 睦雄 (46)	平成29年4月	スポーツ健康科学概論※ スポーツ医学 機能解剖学 I スポーツ外傷・障害と予防 スポーツ救急理論・実習 II						
兼任	教授	山本 道也 (69)	平成29年4月	(特)キャリア特講(基礎)※ 生態学 I 生態学 II 生命科学 I 生命科学 II						
兼任	教授	Robert Spenser (70)	平成29年4月	English Communication 初級 I English Communication 初級 II	兼任	講師				兼任講師へ任用替 (29)
兼任	教授	和田 律子 (67)	平成29年4月	現代文章論 I 現代文章論 II 文学(日本文学) I 文学(日本文学) II						
兼任	准教授	井垣 竹晴 (46)	平成29年4月	心理学 I 心理学 II 教育心理学						
兼任	准教授	五十嵐 卓 (59)	平成29年4月	歴史学入門(日本史) I 歴史学入門(日本史) II						
兼任	准教授	稲垣 裕美 (41)	平成29年4月	スポーツ救急理論・実習 I						
兼任	准教授	金子 衣野 (50)	平成29年4月	健康教育学 精神保健学						
兼任	准教授	亀山 巖 (50)	平成29年4月	スポーツ健康科学概論※ スポーツ運動学 体カトレーニング論 アメリカンフットボール トレーニング実習						
兼任	准教授	下司 優里 (32)	平成29年4月	障害者福祉論						
兼任	准教授	高口 央 (41)	平成29年4月	社会心理学 対人関係論						
兼任	准教授	齊藤 隆春 (54)	平成29年4月	Comprehensive English 初級 I Comprehensive English 初級 II Introduction to TOEIC I Introduction to TOEIC II English Reading I English Reading II English Communication 中級 I English Communication 中級 II						
兼任	准教授	杉山 和明 (44)	平成29年4月	人文地理学 I 人文地理学 II						
兼任	准教授	鈴木 麻里子 (45)	平成29年4月	教育原理 教師論 教育方法学 教職実践演習 教育実習(事前指導) 教育実習(中学校) 教育実習(高等学校)						
兼任	准教授	高橋 巖根 (51)	平成29年4月	宗教学 I 宗教学 II イスラム学 I イスラム学 II						
兼任	准教授	高橋 伸子 (57)	平成29年4月	キャリアデザイン キャリアマネジメント (特)キャリア特講(基礎)※ (特)キャリア特講(職業) キャリアカウンセリング 職業選択論						
兼任	准教授	高橋 由記 (48)	平成29年4月	現代文章論 I 現代文章論 II 文学(日本文学) I 文学(日本文学) II						
兼任	准教授	田畑 亨 (37)	平成29年4月	スポーツ健康科学概論※ スポーツ政策論						
兼任	准教授	永岡 悦子 (42)	平成29年4月	(外)ビジネス日本語 I (外)ビジネス日本語 II						
兼任	准教授	福ヶ迫 善彦 (40)	平成29年4月	スポーツ健康科学概論※ バレーボール 教職実践演習 体育授業理論実習 II						
兼任	准教授	藤田 幸広 (41)	平成29年4月	Introduction to TOEIC I Introduction to TOEIC II メディア英語 I メディア英語 II 資格英語 I 資格英語 II						
兼任	准教授	尹 敬勲 (43)	平成29年4月	初級朝鮮・韓国語 I 初級朝鮮・韓国語 II						

兼担	講師	秋保 親成 (42)	平成29年4月	(特)キャリア特講(基礎)※						
兼担	講師	Adam Gyenes (38)	平成29年4月	English Communication 初級 I English Communication 初級 II						
兼担	講師	岩崎 卓 (44)	平成29年4月	柔道						
兼担	講師	小沢 佳奈 (38)	平成29年4月	マーケティング論 I マーケティング論 II		准教授				職位変更 (29)
兼担	講師	桑野 久子 (50)	平成29年4月	Introduction to TOEIC I Introduction to TOEIC II 外国文化論(西欧) I 外国文化論(西欧) II		准教授				職位変更 (29)
兼担	講師	後藤 隆彰 (38)	平成29年4月	情報学概論 I 情報学概論 II						
兼担	講師	佐藤 佑樹 (35)	平成29年4月	人的資源管理論 I 人的資源管理論 II						
兼担	講師	膳法 亜沙子 (33)	平成29年4月	スポーツ健康科学概論※ スポーツ栄養学 I						
兼担	講師	田中 悠士郎 (33)	平成29年4月	陸上競技						
兼担	講師	千田 元康 (37)	平成29年4月	Comprehensive English 初級 I Comprehensive English 初級 II English Writing I English Writing II						
兼担	講師	富田 美智江 (40)	平成29年4月	外国文化論(アジア) I 外国文化論(アジア) II 民俗学 I 民俗学 II						
兼担	講師	中野 浩一 (30)	平成29年4月	インターンシップ基礎						
兼担	講師	番澤 清美 (47)	平成29年4月	キャリアデザイン インターンシップ						
兼担	講師	三添 篤郎 (36)	平成29年4月	Introduction to TOEIC I Introduction to TOEIC II						
兼担	講師	渡邊 恭男 (64)	平成29年4月	教職実践演習 教育実習(事前指導) 教育実習(中学校) 教育実習(高等学校)						
兼担	助教	長谷川 由貴 (37)	平成29年4月	English Communication 初級 I English Communication 初級 II (特)グローバルコミュニケーション(基礎) (特)グローバルコミュニケーション(発展) 実践コミュニケーション英語 (Task-Based English) スポーツ関連英語(Englishin Action) 英語資格支援講座(Lifelong English)						
兼担	助教	宮武 宏輔 (30)	平成29年4月	情報基礎 I						
					兼任	講師	落合 博 (58)	平成29年4月	スポーツ情報・メディア 概論	オムニバス形式の授業実 施に伴う担当者追加【留 意事項への対応】 (29)
兼任	客員 教授	五味 常明 (67)	平成29年4月	健康教育学						
兼任	客員 教授	山崎 浩子 (57)	平成29年4月	新体操						
兼任	講師	青葉 貴明 (44)	平成29年4月	水泳・水中運動						
兼任	講師	天利 浩 (54)	平成29年4月	経済学 I 経済学 II						
兼任	講師	生駒 忍 (39)	平成29年4月	心理学 I 心理学 II						
兼任	講師	磯山 久美子 (64)	平成29年4月	歴史学入門(西洋史) I 歴史学入門(西洋史) II 安全教育(学校安全を含む)						
兼任	講師	岩井 浩一 (60)	平成29年4月	学校保健学 精神保健学						
兼任	講師	上田 徹 (51)	平成29年4月	哲学 I 哲学 II						
兼任	講師	鷗殿 篤 (44)	平成29年4月	教育学 I 教育学 II						
兼任	講師	大田垣 克幸 (64)	平成29年4月	野球・ソフトボール						
兼任	講師	勝間田 仁 (47)	平成29年4月	情報基礎 I						
兼任	講師	川井 明 (48)	平成29年4月	バスケットボール						
兼任	講師	久保 貴敬 (60)	平成29年4月	テニス						
兼任	講師	剣持 佑起 (33)	平成29年4月	体づくり運動						
兼任	講師	香田 泰子 (56)	平成29年4月	アダプテッド・スポーツ論						
兼任	講師	齋藤 初恵 (42)	平成29年4月	衛生・公衆衛生学(運動衛生 学を含む)						
兼任	講師	佐保 泰明 (34)	平成29年4月	測定評価理論・実習						
兼任	講師	清水 安夫 (49)	平成29年4月	フォローシップ論						
兼任	講師	関野 圭司 (36)	平成29年4月	キャリア基礎(数理) キャリア発展(数理)						
兼任	講師	高梨 友重 (60)	平成29年4月	剣道						
兼任	講師	高野 繁明 (62)	平成29年4月	地球科学 I 地球科学 II						
兼任	講師	高橋 孝徳 (48)	平成29年4月	器械運動						
兼任	講師	竹川 智樹 (39)	平成29年4月	バレーボール						

兼任	講師	CHARLES LOUW (51)	平成29年4月	ラグビー						
兼任	講師	筒井 健裕 (37)	平成29年4月	トレーニング実習						
兼任	講師	長嶋 哲夫 (39)	平成29年4月	起業家育成講座Ⅰ 起業家育成講座Ⅱ						
兼任	講師	中村 弘道 (70)	平成29年4月	(特)キャリア特講(発展) キャリア基礎(言語) キャリア発展(言語)						
兼任	講師	中村 容一 (52)	平成29年4月	健康づくりと運動プログラム						
兼任	講師	西上 潔 (61)	平成29年4月	社会倫理学Ⅰ 社会倫理学Ⅱ						
兼任	講師	西島 壮 (38)	平成29年4月	バドミントン						
兼任	講師	西巻 丈児 (52)	平成29年4月	初級ドイツ語Ⅰ 初級ドイツ語Ⅱ						
兼任	講師	林 絵美子 (50)	平成29年4月	キャリアデザイン キャリアマネジメント						
					兼任	講師	朴 京眞 (33)	平成29年4月	ダンス	専任教員(宗宮)の就任延期に伴う担当者追加(29)
兼任	講師	福井 元 (41)	平成29年4月	スポーツ史						
					兼任	講師	藤丸 真世 (38)	平成29年4月	スポーツコミュニケーション概論※	オムニバス形式の授業実施に伴う担当者追加【留意事項への対応】(29)
兼任	講師	松村 芳明 (43)	平成29年4月	憲法Ⅰ 憲法Ⅱ						
兼任	講師	村田 芳子 (66)	平成29年4月	身体表現論						
兼任	講師	森田 啓 (46)	平成29年4月	スポーツ哲学						
兼任	講師	森山 哲美 (64)	平成29年4月	心理学Ⅰ 心理学Ⅱ						
兼任	講師	山岸 貴司 (49)	平成29年4月	コンディショニング理論・実習Ⅰ(基礎)						
兼任	講師	山村 直子 (68)	平成29年4月	現代女性論Ⅰ 現代女性論Ⅱ						
兼任	講師	和田 久彦 (60)	平成29年4月	考古学Ⅰ 考古学Ⅱ						
兼任	講師	渡部 厚一 (51)	平成29年4月	健康管理学	兼任	講師	奥山 尚 (56)	平成29年4月	健康管理学	講師都合により、担当者変更(29)
					兼任	講師	Lucius Vonjoo (36)	平成29年4月	実践コミュニケーション英語(Task-Based English)	教育課程の充実のため、担当者追加(29)
					兼任	講師	Robert Werner (40)	平成29年4月	実践コミュニケーション英語(Task-Based English)	教育課程の充実のため、担当者追加(29)

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
  - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
  - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
  - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」,「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
  - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**,当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
9 名	5 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
5	2	0	4	11	7	3	0	3	13	7	3	0	4	14
(7)	(3)	(0)	(3)	(13)						[ 2 ]	[ 1 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 3 ]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	1 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
1	助教	宗宮 悠子	必修	1年演習（ゼミ）	①	本人都合（出産・育児）により、就任年月を平成30年4月に延期。 就任後は設置時の計画通り、左記の授業科目をすべて担当する。（29）				
			必修	2年演習（ゼミ）	①					
			必修	3年演習（ゼミ）	①					
			必修	4年演習（ゼミ）	①					
			選択	ダンス	①					
			選択	専門コーチング演習Ⅳ（表現系スポーツ）	①					
合計（A）				後任補充状況の集計（B）						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）				
1	人	必修	4	科目	必修	4	科目	必修	0	科目
		選択	2	科目	選択	2	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	6	科目	計	6	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	-	該当なし	-	-	-	-				
合計（C）				後任補充状況の集計（D）						
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）				
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（A）+（C）				後任補充状況の集計（B）+（D）						
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）				
1	人	必修	4	科目	必修	4	科目	必修	0	科目
		選択	2	科目	選択	2	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	6	科目	計	6	科目	計	0	科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専任教員（助教）1名については、本人都合（出産・育児）により事情止むを得ず就任年月を1年延期し、平成30年4月就任以降は設置時の計画通り授業科目を担当する。  
なお、平成29年度（新学科開設年度）に開講する1年配当科目「ダンス」については、兼任教員の追加により対応する。（29）

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。



6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項についての実施計画
<p>設 置 時 (平成29年4月)</p>	<p>養成する人材像に到達するためには、1～4年次に開講する「演習(ゼミ)」の役割が重要と思われるが、当該科目において使用する「リーダーシップ・フォロワーシップ評価指標」の活用方法が不明確である。このため、FD活動を通じてどのように学生の評価及び指導に活用するのかを明確にした上で、教員相互による指導・評価の効率化を図ること。また、 Semesterごとに評価を行うに当たり、より精緻なものとなるよう評価方法を充実すること。さらに、当該指標による数量的な評価だけでなく、記述項目を設けるなど質的な評価方法についても検討すること。</p>	<p>「リーダーシップ・フォロワーシップ評価指標」は、以下の要領で学生による自己評価を実施するとともに、集計結果等に基づく指導への活用を図ることとしている。</p> <p>①自己評価の実施と指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時期… Semester毎(9月・3月)</li> <li>・授業科目… 演習(ゼミ)にて実施</li> <li>・実施方法… 授業用ポータルサイト「manaba」にて実施</li> <li>・活用指導… データは学生指導に活用するとともに、演習(ゼミ)クラス毎の傾向等も把握し教員FDにも活用する。</li> </ul> <p>※新入生は入学直後(4月)にも自己評価を実施する。その際、別に策定した「コミュニケーションに関するアンケート」(コミュニケーション場面における意識と行動)を合わせて実施し、学科で養成する能力と学修の目的について理解を促し、はじめての自己評価実施時における導入指導としている。</p> <p>②演習(ゼミ)担当教員によるFD活動等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新学科カリキュラムに関する勉強会の実施</li> <li>・「リーダーシップ・フォロワーシップ評価指標」の内容再確認と評価実施に関する打ち合わせ実施</li> <li>※能力向上に関し自由意見を記述できる項目を追加することとした。(添付資料1)</li> <li>※自己評価実施の導入部で用いる「コミュニケーションに関するアンケート」を策定し実施することとした。(添付資料2)</li> <li>・教員間の教育指導における意思疎通を図るための学科会議の実施(定例開催決定)</li> <li>・実践を通じて能力を養成するPA(プロジェクトアドベンチャー)の勉強会の実施</li> </ul> <p>(29)</p>	
<p>設 置 時 (平成29年4月)</p>	<p>教員の補充を必要とされた9授業科目については、開設時又は科目開講時までに教員を充足すること。うち、専任教員の配置を必要とされた7授業科目については、確実に専任教員を配置すること。</p>	<p>教員補充を必要とされた9授業科目のうち8授業科目について、以下の通り教員を補充した。うち、専任教員の配置を必要とされた7授業科目のうち6授業科目は既に専任教員を配置済みであり(平成28年11月AC教員審査による)、残り1授業科目については、科目開講時(平成30年4月)までに配置する。</p> <p>【専任補充を要する科目】</p> <p>①スポーツコミュニケーション概論</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生方謙(専任)</li> <li>・藤原庸介(専任)</li> </ul> <p>②スポーツ情報・メディア概論</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・荒井宏和(専任)</li> </ul> <p>③スポーツ・インテリジェンス実習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・藤原庸介(専任)</li> </ul> <p>④1年演習(ゼミ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生方謙(専任)</li> </ul> <p>⑤3年演習(ゼミ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生方謙(専任)</li> <li>・藤原庸介(専任)</li> </ul> <p>⑥4年演習(ゼミ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生方謙(専任)</li> <li>・藤原庸介(専任)</li> </ul> <p>⑦スポーツ情報戦略・分析論</p> <p>※科目開講時(平成30年4月)までに専任教員を配置する。</p> <p>【兼任補充可能な科目】</p> <p>⑧スポーツコミュニケーション概論</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・藤丸真由(兼任)</li> </ul> <p>⑨スポーツ情報・メディア概論</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・落合博(兼任)</li> </ul> <p>(29)</p>	<p>【専任補充を要する科目】スポーツ情報戦略・分析論については、科目開講時(平成30年4月)までに専任教員を配置する。</p> <p>(29)</p>

<p>設置時 (平成29年4月)</p>	<p>「現状のスポーツ健康科学科でも同様のコミュニケーション能力が身につくとも考えられる」と説明しているが、既設のスポーツ健康科学科との違いがより明確となるように、社会で幅広く通用するコミュニケーション能力が身につく教育課程となっていることを受験生に対して分かりやすく説明することが望ましい。</p>	<p>その他意見</p>	<p>新学科と既設学科との違いが受験者に分かりやすく伝わるよう以下のことを行っている。  ①新学科紹介用の電子プレゼンテーション資料を作成し、オープンキャンパスや個別の入試相談会において質疑応答を交えながら具体的に説明している。  ②学科紹介用のリーフレットを作成し、資料請求者や高等学校等に広く配布している。高校での説明会やオープンキャンパス等でも活用し具体的に説明している。  ③高等学校で体験型の模擬授業を実施している。  ④大学のホームページに学科のカリキュラムマップや履修モデル等を掲載する。  ⑤学科紹介用のプロモーションビデオを作成し、高校訪問やオープンキャンパス等で活用する。  (29)</p>	
--------------------------	--	--------------	--	--

- (注)・ 「設置時」には、当該大学等の設置時(認可時又は届出時)に付された留意事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を( )書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の(年月)には、調査結果を公表した月(通常2月)を記入してください。(実地調査や面接調査を実施した日ではありません。)

## 7 その他全般的事項

〈スポーツ健康科学部 スポーツコミュニケーション学科〉

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	変更なし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

#### ① 実施体制

##### a 委員会の設置状況

2007年10月に新たな教学組織として「教育学習支援センター」を開設し、委員会組織として現在「教育学習支援センター運営委員会」（添付資料3）と「FD委員会」（添付資料4）を設置している。

##### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

現在の教育学習支援センター運営委員会は、センター長、副センター長、各学部選出の専任教員、教務部長、学生部長、事務部長代理の他、センター専任所員、事務職員が出席して、毎月1回運営委員会を開催している。FD委員会では、教育学習支援センター長、教務部長、各学部選出の専任教員、一般教養選出の専任教員、事務職員が出席する定例会議を開催している。

##### c 委員会の審議事項等

- ・ 教育学習支援センターの活動計画について
- ・ FDに関する具体的プログラムの実施について
  - － 研修企画について
  - － 授業アンケートの実施と評価、フィードバックについて ほか
- ・ 関連部局との連携等について ほか

#### ② 実施状況

##### a 実施内容

- ・ FD研修会の開催
- ・ 授業アンケート
- ・ 教員向け授業手引書の作成
- ・ 他大学訪問による情報収集

##### b 実施方法

- ・ FD研修会  
 全学FD研修会2回、全学科一斉FD研修会2回では、精神障害や発達障害を持つ学生、病弱・虚弱の学生の増加に鑑み、それらの学生に対する組織的な支援体制について学生相談室のスタッフの講演と、それらを基に今後の学生指導に生かすための検討をした。  
 その他、新入生に行った大学生基礎力調査の結果に関する説明、授業アンケートを授業用ポータルサイト「manaba」での実施に切り替えるための説明と、それらを基に今後の学生指導に生かすための検討をした。  
 新任教員研修会は、本学についての率直な意見（良い面や悪い面）を基に討論し本学に対する理解を深めた。
- ・ 授業アンケート  
 毎年2回実施。
- ・ 教員向け授業手引書の作成  
 本学で重視している1年生ゼミ担当教員向けに、教授ノウハウ等をまとめた冊子とDVDを作成し配付。
- ・ 他大学訪問による情報収集  
 FD活動等に積極的な大学を教育学習支援センター運営委員（専任教員及び職員）が訪問し情報交換等を行った。

##### c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ FD研修会  
 2016年度は、全学FD研修会、全学科一斉FD研修会を実施し、専任教員の約7割程度が参加し、欠席者には、資料の配付や各学部FD委員からの内容説明等のフォローを行った。  
 新任教員研修会は、9割程度の参加であり、欠席者には、資料の配付や各学部FD委員からの内容説明等のフォローを行った。
- ・ 授業アンケート  
 毎年学期毎に開催し、都度結果をホームページを通じて学内外に公表した。2006年度からは全科目を対象に実施している。
- ・ 教員向け授業手引書の作成  
 編集委員となった専任教員7名のとりまとめにより、教職員26名の執筆協力により2008年4月に完成。毎年加筆訂正をしたうえで作成し、ゼミを担当するすべての教員に配布している。
- ・ 他大学訪問による情報収集  
 FD委員や専任所員が他大学を訪問し、委員会で報告を行い情報共有した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

本学における授業改善への具体的な取組として、FD研修会の実施、他大学を訪ねての情報収集などが行われ、ゼミに関しては授業運営の手引書が編纂されており、教員間のノウハウの共有化も進められている。また、授業アンケートは継続的に行われており、その結果をより効果的に実際の授業に反映すべくシステムの構築をすすめ、教員の教育技術の向上と学生の学修活動の支援のための活動の継続と新たな施策についても積極的に展開していく。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

毎年学期毎（7月、1月）に実施している。2016年秋学期から授業用ポータルサイト「manaba」で実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

都度結果をホームページを通じて学内外に対して公開している。教員や学生へは2017年度からアンケート実施後速やかに「manaba」上で公開し、振り返りができるシステムを構築している。

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

##### ・設置の趣旨・目的

近年、グローバル化の進展への対応力と、その過程で今後より強く求められるコミュニケーション能力の育成・向上を、社会に巣立っていく学生に対して十全に教授することは焦眉の急であると考えられる。流通経済大学スポーツ健康科学部スポーツコミュニケーション学科では、スポーツ実践の場がグローバル人材の育成とコミュニケーション能力の向上が期待できる優れた場であると解釈し、「人と人」に関連が深いコーチング領域、「人と組織」を中心とするマネジメント領域、「人と社会」を対象とする情報・メディア領域の3つの領域について学問的に考究・体系化しながら、その成果を教育実践に応用することを通じて、スポーツをする・みる・ささえる人材のみでなく、広く社会一般において有為な指導的人材を育成・輩出することを目的としている。

##### ・総括評価・所見

学生確保については、オープンキャンパスや入試相談会、高校訪問等により学科の教育内容等を直接紹介するほか、各種媒体による広報活動を展開し、平成29年度は入学定員100名に対して101名の入学者を確保した。教育環境については、当初の計画どおり龍ヶ崎キャンパスに新2号館が完成し、ラーニングcommonsが整備され、アクティブラーニング教室も充実した。1年次必修科目の実習で使用する実習施設（プロジェクトアドベンチャー施設）も完成し、英語力の向上に向けた学生の自学自習をサポートする体制も整った。教育活動についても当初の教育方針に沿って実施している。授業に先立って新入生対象のガイダンス「RKU WEEK」も行い、学科の教育理念や学修目標、目指す人材像等の説明を行うなど、新学科の開設年にあたり丁寧な教育の実践を心掛けている。次年度以降も目標達成のため一層努力する所存である。

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表（予定）時期

・平成27年3月以降現在まで公表中。

平成26年に認証評価を受け、評価の結果、（財）大学基準協会の大学基準に適合しているとの認定を受けている。（認定期間：平成34年3月31日まで）

##### b 公表方法

・大学ホームページに公開中。

・自己点検・評価報告書を刊行し、大学や資料請求者に配布。

#### ③ 認証評価を受ける計画

スポーツコミュニケーション学科が完成年度を迎えた後、再度、（財）大学基準協会の評価を受ける予定。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

### (4) 情報公表に関する事項

#### ○ 設置計画履行状況報告書

##### a ホームページに公表の有無

( 有 ) ・ ( 無 )

##### b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

( 平成29年 5月 31日 )